

アクティブ亀山の2016年（平成28年）度の活動報告

毎月、亀山市共生社会推進室との定例会議を実施しています。

平成28年6月1日

亀山市男女共同参画情報誌 2016 編集（発行）



6月1日号の広報紙とともに各戸配布する亀山市の男女共同参画情報誌を編集しました。



6月19日

三重県内男女共同参画連携映画祭 2016 運営



「あん」を上映後アフタートークを開催。約40名の参加をいただきました。無意識のうちに人を差別することがあるなど、活発なご意見をいただきました。お帰りには参加記念に花鉢をお渡ししました。

アクティブ亀山 いきいき講座開催

自主活動として「いきいき講座」を4カ所で開催

- 5月26日 野村コミュニティセンター 34名参加
- 9月10日 御幸コミュニティセンター 21名参加
- 11月15日 北東コミュニティセンター 20名参加
- 11月19日 亀山老人保健施設 22名参加

10月28日～30日

日本女性会議2016秋田に参加

テーマ「みつめて みとめて あなたと私 ～多様性（ダイバーシティ）とは～」
亀山市からは2名が参加しました（うち1名はアクティブ亀山のメンバー）。会場は熱気につつまれ、活動への強い意欲が喚起されました。

12月10日

ヒューマンフェスタ in 亀山に参加

アクティブ亀山は、「子どもの孤食」をテーマに、さまざまな角度から検討を行いました。

1. 子どもの孤食が増えている
2. なぜ孤食が多いのか
3. なぜ孤食がいけないのか
4. どうすればよいか
5. 子ども食堂

今年スタンプラリーが行われ、参加者は各ブースを回ることができました。



平成29年2月7日

亀山市自治会連合会（役員）との懇談

「自治会における女性参画推進に関する交流会」を開催しました。自治会連合会の役員の方々に、アクティブ亀山の活動を理解していただき、ともに男女共同参画推進に取り組んでいくことを確認しました。



亀山市男女共同参画情報誌 2017

ケロロ

意識を変える カエル



意識を変える→カエル→カエルの歌声ケロロを新しい情報誌の名前にしました。

編集 アクティブ亀山

10年ほど前は、男女共同参画という言葉に違和感を覚える人が多かったようですが、今ではどのアンケートでも、「男女共同参画という言葉を知っている」と答える人が50%を超えるようになってきました。しかし、まだまだ活力ある男女共同参画社会の実現にはほど遠く、問題は山積していると言えます。今後も少しずつともに学びながら、男女がともに住みやすく自己実現できる社会を目指してまいりましょう。そんな男女共同参画社会の実現に、少しでも市民活動団体であるアクティブ亀山が貢献できれば幸いです。

アクティブ亀山 代表 佐野 孝子

三重県内男女共同参画 連携映画祭

映画「ペコロスの母に会いに行く」



© 2013 『ペコロスの母に会いに行く』 製作委員会

◎場 所：亀山市文化会館大ホール

◎開催日：6月18日（日）

◎開 場：12時30分 ◎開 演：13時15分

入場無料ですが、整理券が必要です。

（5月15日から希望者に配付しています。）

※整理券配布場所 市役所・関支所・亀山文化会館など

※無料託児あり 要予約

映画終了後アフタートークあり

（参加者には花のプレゼントがあります。ぜひご参加ください。）

あらすじ

長崎で生まれ育った団塊世代のサラリーマン、ゆういち（岩松了）。ちいさな玉ねぎ「ペコロス」のようなハゲ頭を光らせながら、漫画を描いたり、音楽活動をしなが、彼は父さとの（加瀬亮）の死を契機に認知症を発症した母みつえ（赤木春恵）の面倒を見ていた。迷子になったり、汚れたままの下着をタンスにしまったりするようになった彼女を、ゆういちが断腸の思いで介護施設に預けることに。苦勞した少女時代や夫との生活といった過去へと意識がさかのぼっている母の様子を見て、彼の胸にある思いが去来する。（パンフから抜粋）

日本女性会議

日本女性会議は男女共同参画に関する国内最大級の会議として、30年以上にわたり各都市で開催されています。2016年は秋田市で開催され、亀山市から2名が参加し、先進的な考えにふれてきました。テーマは「みつめて みとめて あなたと私 ～多様性（ダイバーシティ）とは～」。さまざまな思いや考え方の違いを尊重して受け入れ、性別や年齢、職業、国籍、障がいなどを超えて多様性を認め合う社会について学び、ともに語り合いました。

日本女性会議2017とまこまい

開催日 10月13日（金）～15日（日） ご興味のある方はお出かけください。（申込必要）



アクティブ亀山は「市民活動応援制度」の登録団体です

活動内容

男女共同参画啓発講座・・・食育講座・音育講座・ストレッチ・脳トレ・その他

皆さまふるってお申込みください。

女性相談

夫・恋人からの暴力、夫婦間の問題など一人で悩まず、お電話ください。

日時 平日8時30分～17時15分
（土日祝休み）

場所 総合保健福祉センター（あいあい）

2階 子ども支援室
電話 0595-83-2425



男女共同参画に関する情報、問合せ

亀山市市民文化部文化振興局共生社会推進室
電話 0595-84-5066
FAX 0595-82-9955
E-mail kyoseisyakai@city.kameyama.mie.jp

アクティブ亀山への参加申し込み・お問い合わせ
代表 佐野孝子 TEL: 0595-85-1883



古紙パルプ配合率70%白色度82%の再生紙を使用しています

アクティブ亀山主催 いきいき講座

アクティブ亀山は、市民活動応援制度を利用して「いきいき講座」を開いています。各地区のコミュニティセンターに出向いて行う講座は、盛りだくさんの内容をご用意しております。男女共同参画社会の実現を目指す私どもの日ごろの活動報告、食の大切さを訴える食育、歌を通して心身を豊かにする音育、頭と体をリフレッシュする脳トレ・ストレッチを含みます。



昨年度は4カ所で開催しました。平成29年度も再び開いてほしいとリクエストをいただいたところもあり、喜んでいきます。今後とも研鑽を重ね、皆さまに喜んでいただける内容を追求してまいります。また、男女共同参画社会の実現に向けたユニークな講座を企画してみたい方、楽器の演奏をしていただける方などを募集しています。これからも、この講座がすべての人に男女共同参画を考えていただく一助になればと願います。



第12回ヒューマンフェスタ in 亀山

開催日 平成28年12月10日(土)

会場 亀山市立井田川小学校



アクティブ亀山は「子どもの孤食」を掲示

子どもの孤食が増えています。家族がいるにもかかわらず、子どもが一人で食事をする家庭が増えているのです。それは、単に経済的な問題だけではなく、親のさまざまな困難が絡み合っており、子どもたちは「さみしさ・しんどさ」を抱えています。

子どもは、信頼できる大人につながった時、未来が変わります。子どもたちとともに食事をし、ふれ合う中で「孤立・孤食」を防ぎ、安心して過ごせる「子どもの居場所」として、今、全国に次々と子ども食堂が開かれています。亀山市内でもこれから増えていくことが望まれます。

人権週間 12月4日～10日

人権週間中に、ヒューマンフェスタ in 亀山を開催しており、アクティブ亀山も実行委員会の一員として会場内にブースを設け、啓発を行いました。今年は6人の中高生による感動的な人権作文発表のほか、バングラデシュ出身のイスラム・ティダル氏が流暢な日本語で「私を感じる今の日本」を話され、聞く人の共感を呼びました。昼休みにはブース展示、学生たちによるみそ焼きうどんなどを楽しみ、午後には、ちゃんへん、氏の「あきらめない心」の人権講演とジャグリングの実演に感動し、会は拍手喝采のうちに幕を閉じました。



亀山市人権施策基本方針 基本理念
 みがかう、人権感覚 広げよう、人権の視点
 めざそう、一人ひとりの人権が尊重されるまち

第3次亀山市男女共同参画基本計画が策定されました

このたび、亀山市では、市域における男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成29年度から平成33年度までの5年間を計画期間とする「第3次亀山市男女共同参画基本計画」が策定されました。

<基本目標>

<基本施策>

基本目標1
男女共同参画社会の実現

- 1 男女の人権尊重
- 2 教育や啓発による意識改革、理解の促進
- 3 男女共同参画の視点に立った慣行等の見直し

基本目標2
あらゆる分野における女性の活躍

- 4 政策・方針決定過程への女性の参画拡大
- 5 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
- 6 男性中心型労働慣行等の変革と女性の活躍推進
- 7 雇用等における男女共同参画の推進

基本目標3
安全・安心な暮らしの実現

- 8 女性等に対するあらゆる暴力の根絶
- 9 生涯にわたる健康づくり支援
- 10 様々な要因により困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備
- 11 男女共同参画の視点に立った防災体制の確立



<基本計画のキャッチフレーズ>

共につくろう 男女が生き生き輝くまち かめやま

男女共同参画用語コーナー

Question ジェンダー・ギャップ指数とは?
 (Gender Gap Index)



次の3つの中から正しいものを選んでください。

- ①世代間格差 に関する指数
- ②男女格差 に関する指数
- ③人種格差 に関する指数

Answer : ②男女格差 に関する指数

ジェンダー・ギャップ指数は、世界経済フォーラム(WEF)が各国の「経済」「教育」「政治」「保健」の4分野のデータをもとに作成しています。2016年は、日本は144か国中111位でした。「0」が男女完全不平等、「1」が完全平等を意味しますが、日本の値は0.660でした。その内訳は経済0.569、教育0.990、政治0.103、保健0.979です。

日本の順位の高さには、政治家(国会議員、閣僚、首相)と企業幹部(社長、取締役)に女性が少ないことが大きく影響しています。これを改善していくためには、女性の登用が社会や企業にもたらす効果や利益について、日本社会全体の共通認識にすることが必要であり、また意図的に「女性枠」を設けることなども検討していくべきではないでしょうか。